

# 令和6年度 学 校 評 価 報 告

草加市立松江中学校

(令和7年2月19日作成)

<b>1 学校教育目標</b>	
ま	学ぶ意欲のある生徒 (かしこく) 知
つ	強い心と体をもつ生徒 (たくましく) 徳・体
え	笑顔あふれる生徒 (あたたかく) 和・輪
<b>2 重点目標・努力目標</b>	<b>3 前年度の成果と課題</b>
<p>1 教師一人一人の授業力の向上&lt;子どもの魂を揺さぶり、興味・関心を高める工夫、読解力の向上、思考力・判断力・表現力の育成&gt;</p> <p>2 集団生活を通じた豊かな人間性の育成&lt;子どもが主体となった学校行事の推進・生徒会活動・専門委員会活動の充実・「感謝・敬愛・礼儀・正義・自律・努力」の心の育成&gt;</p> <p>3 共感的な人間関係の育成&lt;生徒指導・教育相談体制・道徳授業の充実・特別支援教育の充実・いのちを大切にする教育の充実&gt;</p> <p>4 教育環境の整備(ユニバーサルデザインの考え方)&lt;子どもの自己存在感が感じられる潤いのある教室掲示の工夫・読書に親しむ環境の充実&gt;</p> <p>5 「主体的・対話的で深い学び」の研究推進</p> <p>6 松中PRIDEの育成・推進</p> <p>①「ありがとう」「ごめんなさい」を言います</p> <p>②「いじめ」をしません</p> <p>③心をこめて接します</p> <p>④卑怯な振る舞いをしません</p> <p>⑤我慢をします</p> <p>⑥夢に向かって頑張ります</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育目標、目指す学校像、特に「松中PRIDE」を意識した教育活動が推進され、一定の成果を上げていると共に、特に学校運営協議委員から生徒の自主性が育っているとの評価をいただいた。</li> <li>○ホームページや連絡メールの積極的な活用により、保護者、地域とともにある学校づくりを行うことができた。</li> <li>○生徒指導上の様々な問題に対して、職員一人一人の共通理解に基づき、積極的かつ組織的な指導と素早い初期対応により問題解決と改善を図ることができた。</li> <li>○在校時間80時間以上0名、教職員の在校時間の減少という結果から、働き方改革や超過勤務に対する意識が高まっている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各種学力・学習状況調査において、各学年、各教科において学力の伸びが見られたが、依然として改善の余地があることから、今後も学力向上(特に「基礎学力」を中心に)の実現を目指した指導法の工夫や職員研修を組織的に取り組み、さらに発展させていく。</li> <li>●全体として、どの項目でもB以上の評価を得られ良好であったが、保護者・学校運営協議委員共に、今後力を注いでほしい項目としては、「基礎学力」「思考力・判断力・表現力」「思いやりの心」の育成への要望があった。そのため、授業や学校行事等、学校教育全体でこれからの育成に努めていく。</li> <li>●「幼保小中を一貫した教育」については、今年度同様、定期的な情報共有の場を設定するとともに、特に小学校との連携を深め、体験的な活動による交流を深める。</li> <li>●不登校生徒への対応の工夫や問題行動について、未然防止の観点から環境づくりと積極的な生徒指導を引き続き推進する。</li> <li>●講師を招いてのネットトラブルや情報モラルについての講演を実施し、学校全体でネットトラブル防止に向けた取組を行っていく必要がある。</li> </ul>

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営目標、方針</li> <li>・校務分掌組織</li> <li>・適所への適材配置</li> <li>・職員会議等の運営</li> <li>・予算の執行・決算、監査等</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育目標を達成するための教育活動が今年度もしっかりと進められた。</li> <li>●企画委員会、職員会議や各種会議等の開催時期は問題なかったが校務分掌組織の仕事量の偏りの見直しを進めたい。</li> <li>●年度当初の職員数、代員との引継ぎ、授業担当の変更など、職員の負担感が増した。</li> </ul>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究組織、計画、実施</li> <li>・校内研修の推進</li> <li>・授業改善への取組</li> <li>・校外研修会への参加</li> <li>・人材育成</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上について、適切に分析の機会を設け、それを基に各教科の目標を作成する等効果的な昨年度に引き続き取組ができた。</li> <li>●ICT及び体験的な活動を充実させるための研修をさらに深めていく。</li> </ul>

校運営に関するもの	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健計画、安全計画</li> <li>環境衛生の管理</li> <li>健康観察、安全点検</li> <li>緊急事態発生時の対応</li> <li>危機管理マニュアルの作成・活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中の合同避難訓練や避難所開設訓練、不審者対応訓練など計画的に実施することができた。</li> <li>●危機管理マニュアルの更なる改善を図り、より実態に合った対応ができるようにする。</li> </ul>
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の管理、保護</li> <li>施設設備の管理と有効利用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報の管理・保護が適切に行われた。</li> <li>○点検活動や修繕等、適切に進められた。</li> <li>●清掃や美化活動について、生徒が一層積極的に行えるようにしていく必要がある。</li> </ul>
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校情報の発信</li> <li>学校公開の実施</li> <li>学校運営協議会の推進</li> <li>地域、校種間連携</li> <li>PTA活動の活性化</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○HPを毎日更新し情報や日常の様子を掲載し、情報伝達に努めた。</li> <li>○学校だよりを地域に配付積極的な情報発信を行った。</li> <li>●学校運営協議会の協議内容をさらに充実させ、家庭・地域との連携や地域の人材活用を進めていく必要がある。</li> </ul>
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す子ども像の共有</li> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成</li> <li>一貫教育推進のための組織づくり</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校区の情報交換会を適宜開催し、情報共有を図ることができた。</li> <li>○小学校への乗り入れ授業について、相互確認をしながら計画的に実施した。</li> <li>●児童・生徒との交流を増やしていく必要がある。</li> </ul>

(様式2・中学校用②)

草加市立松江中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>教育計画の作成</li> <li>教育活動の評価</li> <li>目標、方針の周知</li> <li>授業時数の配当、確保</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業時間が確保でき、教育課程の編成は概ね適切であった。</li> <li>●時間割等の見直しを進めていく必要はある。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科、板書の工夫やICTの活用等で生徒の関心を高める授業を実施できた。</li> <li>○校内研修を通して、相互授業参観を行い、授業について改善を図ることができた。</li> <li>●一時間の流れを振り返ることのできる板書計画を各教科で検討し実施する。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳的実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> <li>いのちの教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師も生徒も保護者も、特支以外はABの評価を合わせて90%以上であり、道徳教育を通して、思いやる心が育まれていると思われる。来年度も学年内でのローテーション授業を継続させ、より一層、道徳的心情や道徳的実践力が育つように指導を行う。</li> </ul>
	④特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>学級活動、学級経営</li> <li>学校行事</li> <li>生徒会活動</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見通した指導計画をもとに、行事計画を見直し、活動の活性化を図ることができた。</li> <li>○本部・各専門委員会等、生徒主体の様々な取組を模索することができた。</li> </ul>
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>指導内容の充実</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価の工夫</li> <li>地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見通した全体計画・年間指導計画に基づき、計画的に実施できた。行事に伴う活動時間の確保のため、現状通り、あまり細かく設定せずに進める。</li> <li>●一層地域の人材・物的資源の活用を促進する。</li> </ul>
	⑥生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な生徒指導</li> <li>問題行動への対処</li> <li>教育相談、生徒理解</li> <li>いじめ防止対策</li> <li>保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的かつ組織的な指導と素早い初期対応により大きな問題に至る前に問題解決を図ることができた。</li> <li>○不登校傾向のある生徒への積極的なアプローチができた。</li> <li>●学年内で十分に情報共有がされていないことがあった。学年内では、学年の生徒指導担当がリーダーシップを発揮して高いレベルで情報共有していく。</li> </ul>

⑦キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的なキャリア教育</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>啓発的経験の充実</li> <li>進路情報の収集・活用</li> <li>職場体験活動</li> </ul>	B	<p>○各学年において、体験的なキャリア教育を実施することができた。</p> <p>●職場体験学習の実施(方法)について、その実施有無を踏まえて工夫を考えていかなければならない。</p> <p>●キャリアパスポートについて(キャリア教育連絡協議会などから)現状、高等学校でも取り扱いに困っているとの話(特に活用するタイミングが無い)。草加市で共通のもの(9年間使える冊子にするなど)があれば理想であり学校としても有効活用を見出したい。</p>
⑧特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画、支援計画</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>通常学級との交流</li> <li>諸機関との連携</li> <li>校内支援体制の整備</li> </ul>	B	<p>○支援が必要な生徒に対して、担任教諭と授業担当教諭が連携して、適切な支援を行うことができた。</p> <p>●生徒や保護者の一人ひとりの思い・願いを把握した支援を今後も継続していきたい。</p>
⑨学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画、支援計画の作成</li> <li>図書館補助員の活用</li> <li>諸機関との連携</li> <li>図書館の整備</li> <li>図書館利用の工夫</li> </ul>	A	<p>○学校司書による図書館だよりや廊下の掲示物などの取組の工夫が見られた。</p> <p>○貸出冊数が昨年度と比較し大幅に増加した。</p> <p>●今後も継続して、昼休みの貸出や授業での活用など図書館の利用を、図書委員会を中心に工夫を進めていく必要がある。</p>
⑩情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育計画の作成</li> <li>校内研修の充実</li> <li>ICT機器の積極的な活用</li> <li>情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<p>○授業や集会行事、総合的な学習等でICT機器の積極的な活用がなされている。</p> <p>●タブレットの使い方やeライブラリ・スクールタクト等の学習支援アプリの活用法について研修を行うことができた。ただし、タブレットをもっと活用したいが、授業で使いこなせていない。</p>
⑪人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の策定</li> <li>各教科との関連</li> <li>人権感覚の育成</li> <li>校内研修の充実</li> </ul>	A	<p>○教育活動全体で、差別を許さない生き方を育て、お互いを認め合う態度を育てることができた。</p> <p>●今後も継続して、校内研修で適宜取り上げ、教職員の理解を深めていく必要がある。</p>

(様式2・中学校用③)

草加市立松江中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画の立案</li> <li>わかる授業づくり</li> <li>指導方法の工夫と改善</li> <li>評価、評定の工夫</li> <li>外部人材の活用</li> </ul>	A	<p>○各教科とも先生方が板書の工夫やICTの活用等で生徒の関心を高める授業を実施できた。</p> <p>○月1回の校内研修を実施するとともに、相互授業参観を行い、授業改善を図ることができた。</p> <p>●基礎学力を身につけさせるためには、すべての学級で家庭学習を徹底させる必要がある。</p>
	豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画の作成</li> <li>各教科との関連</li> <li>道徳実践力の育成</li> <li>家庭、地域社会との連携</li> </ul>	A	<p>○「松中PRIDE」の推進を図ることができた。</p> <p>○道徳の時間においては、ローテーション授業や研究授業を含め様々な取組を実施することができた。</p> <p>●道徳別業の充実に向けて、道徳関係の研修の機会をより多く設ける必要がある。</p>
	幼保小中を一貫した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼保小との連携</li> <li>研究発表に向けた取組</li> </ul>	B	<p>○幼保小中連絡協議会等で適宜、各園・各校の情報交換を行うことができた。</p> <p>●幼保小との連携をさらに深める必要がある。特に体験的な活動等について交流を深めていく必要がある。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

学校運営評議員より：生徒たちが学校生活を楽しんでいるのが感じられ良い学校だと思う。  
：SNSのトラブルや闇バイト等メディアで報道されている。学校での指導が大切。

- ・学校教育目標、目指す学校像、特に「松中PRIDE」を意識した教育活動が推進され、一定の成果を上げている。
- ・ホームページや連絡メールの積極的な活用により、保護者、地域とともにある学校づくりを行うことができた。地域から生徒の立ち居振る舞いに感謝の言葉を頂いた。
- ・生徒指導上の様々な問題に対して、職員一人一人の共通理解に基づき、積極的かつ組織的な指導と素早い初期対応により問題解決と改善を図ることができた。

## 6 次年度の改善策

- ・昨年度在校時間80時間以上0名、教職員の在校時間の減少という結果であったが、信憑性を追求し、今年度超過勤務の度合いが上がった。ただし、確実に働き方改革や超過勤務に対する意識が高まっている。一層、より効果的でタイムパフォーマンス等を加味した教育実践に取り組んでいく。
- ・各種学力・学習状況調査において、各学年、各教科の学力の伸びが見られたが、まだ改善の余地があることから、今後も学力向上（特に「基礎学力」を中心に）の実現を目指した指導法の工夫や職員研修を組織的に取り組み、さらに発展させていく。
- ・全体として、どの項目でもB以上の評価を得られ良好であったが、保護者の要望として今後力を注いでほしい項目としては、やはり「基礎学力」「思考力・判断力・表現力」「思いやりの心」の育成への要望があった。そのためテスト前時、家庭学習のさらなる充実や、授業や学校行事等、学校教育全体でこれからの育成に一層努めていく。
- ・不登校生徒への対応の工夫や問題行動について、未然防止の観点からSCやSSWやさわやか相談員等と一層連携を図り、環境づくりと積極的な生徒指導を引き続き推進する。
- ・外部講師を招聘しネットトラブルや情報モラルについて学校全体で防止に向けた取組を継続して行っていく必要がある。